

災害から命をまもる

このマップは、万が一、築留池が決壊した場合に想定される最大の浸水範囲や浸水深を示し、地域の方々が安全に避難できるように役立てて頂くための情報を提供する目的で、作成したものです。
 なお、地図に示した区域以外にも、状況によっては浸水する恐れがありますので、ご注意ください。

問い合わせ
 熊取町役場 水とみどり課
 072-452-6403 (直通)

1:5,000

熊取町池 たため池 ハザードマップ

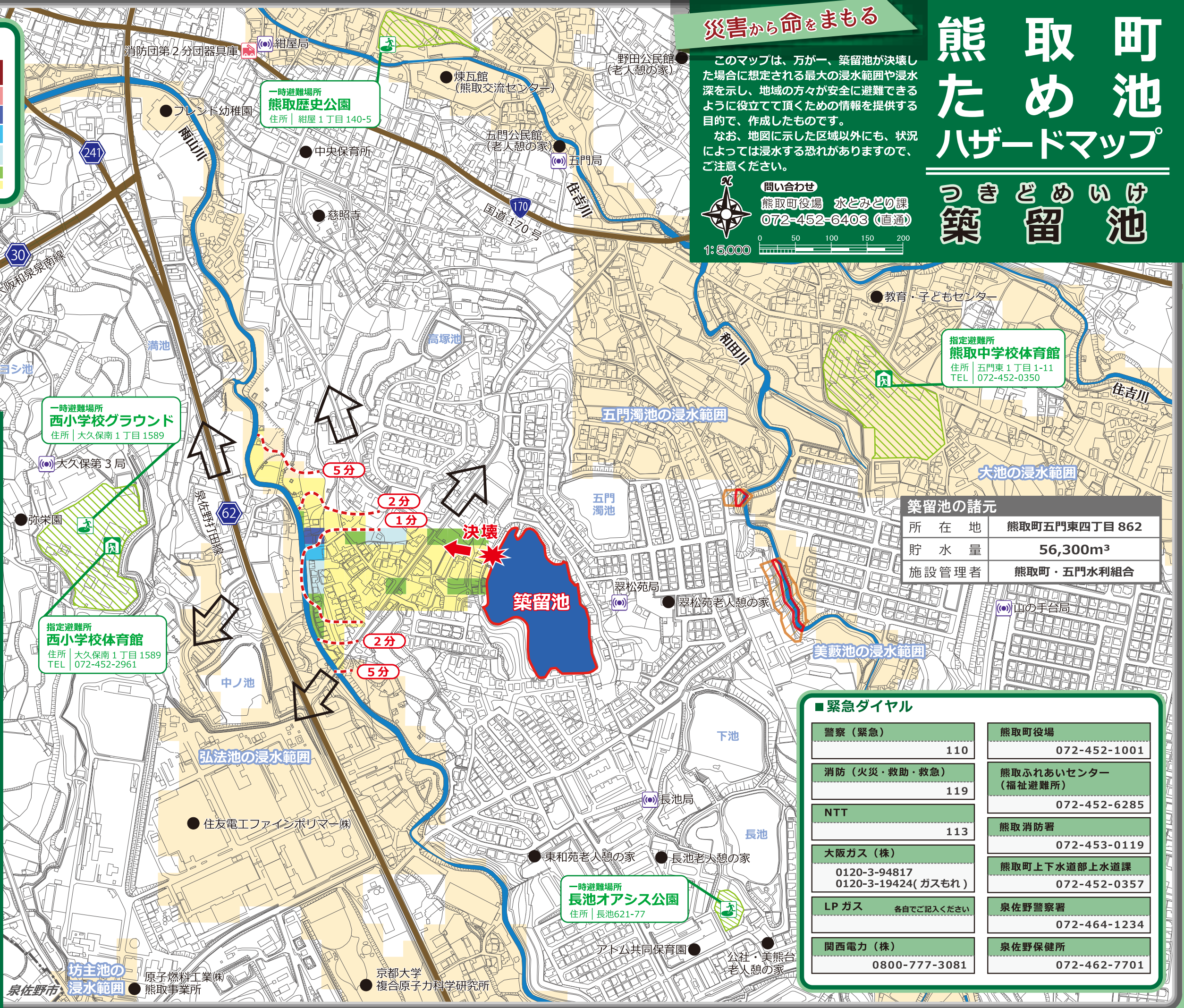
つきどめいけ 築留池

■ 浸水深のめやす

- 5.0m以上の浸水想定区域
- 4.0m～5.0m未滿の浸水想定区域
- 3.0m～4.0m未滿の浸水想定区域
- 2.0m～3.0m未滿の浸水想定区域
- 1.0m～2.0m未滿の浸水想定区域
- 0.5m～1.0m未滿の浸水想定区域
- 0.5m未滿の浸水想定区域

凡例

浸水想定区域	5.0m以上の区域
	4.0m～5.0m未滿の区域
はん濫流の到達時間	2分
	5分
その他	土砂災害警戒区域
	土砂災害特別警戒区域
地域情報	主要道路
	消防施設
	防災行政無線
	その他の施設
避難情報の見方	①緊急時 命を守るために一時的に災害から避難しましょう
	②災害後 避難生活を送る事ができる町指定の避難所へ向かきましょう



築留池の諸元

所在地	熊取町五門東四丁目 862
貯水量	56,300m ³
施設管理者	熊取町・五門水利組合

■ 緊急ダイヤル

警察 (緊急)	110	熊取町役場	072-452-1001
消防 (火災・救助・救急)	119	熊取ふれあいセンター (福祉避難所)	072-452-6285
NTT	113	熊取消防署	072-453-0119
大阪ガス (株)	0120-3-94817 0120-3-19424 (ガスもれ)	熊取町上下水道部 水道課	072-452-0357
LP ガス	各自でご記入ください	泉佐野警察署	072-464-1234
関西電力 (株)	0800-777-3081	泉佐野保健所	072-462-7701

災害から命をまもる

熊取町 ため池 ハザードマップ

多くのため池は、谷の一部を堤体でせき止め、貴重な農業用水を貯めています。日々適正な維持管理を行っていますが、万が一にも堤体が決壊すると、貯留水が一気に下流に向けて流れ出します。このハザードマップでは、豪雨や地震によってため池が決壊した場合に想定される浸水範囲の他に、避難所の位置やその他の災害情報などを記載しています。これらの情報を参考にして、日ごろから浸水が発生しやすい場所や避難経路などを地域の皆さんや家族と共有し、どこに逃げるかを事前に考えておきましょう。

ため池防災メモ

家族と話し合ってバラバラに避難した時の集合場所などを決めておきましょう。

緊急時の集合場所

MEMO

1 ため池の決壊に備えて情報を集めよう！

ため池決壊の主な原因

大雨



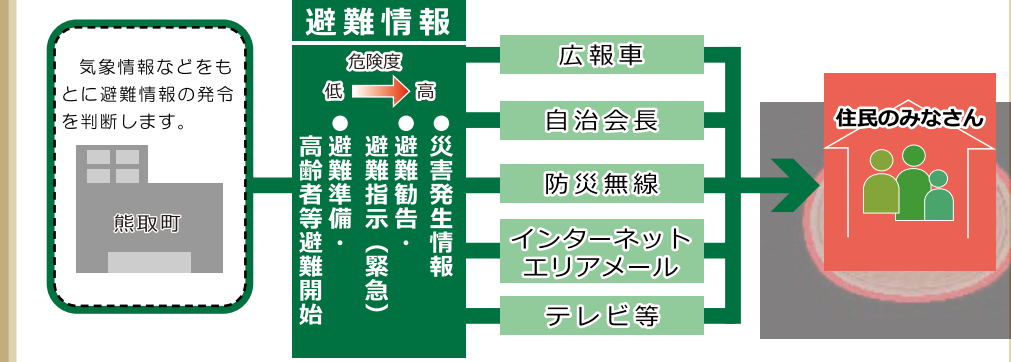
大雨でため池の水位が急激に上昇し、堤体に浸透し強度が低下したり、堤体を超えた水によって浸食されて、決壊が発生します。

地震



大規模な地震で堤体が損傷を受け、亀裂が入り漏水が起こることで、強度が低下し、水をとどめることができなくなり、決壊が発生します。

避難情報の伝達経路



ため池の決壊は予測が困難なため、避難情報が間に合わないおそれがあります。**早めの避難**を心がけましょう！

気象情報の入手先

おおさか防災ネット

PC <http://www.osaka-bousai.net/>
携帯電話 <http://www.osaka-bousai.net/mobile/>

「おおさか防災ネット」は、気象や災害発生時の被害・避難情報など幅広い防災情報を提供しています。

また、右記のQRコードに空メール（件名・本文不要）を送信して、登録手続きをすると電子メールでの情報の入手が出来るようになります。



熊取町にある気象観測所

熊取町には気象庁の観測所「地域気象観測所（アメダス）」があり、気温・降水量・風向風速・日照時間などを観測しています。
観測所名：熊取
所在地：熊取町朝代西（京都大学複合原子力科学研究所内）

2 ため池ハザードマップの使い方は？

【1】ため池の決壊に備えて

1 このハザードマップで **ご自宅の場所**を確認しましょう。

2 次に、**ため池の場所**を確認しましょう。

3 ため池の決壊による「**浸水範囲**」と「**浸水深**」を確認しましょう。

4 **ご自宅が浸水するおそれ**があるかどうか、確認しましょう。

浸水範囲に入らなくても、浸水のおそれがあるため注意しましょう。

5 **ご自宅が浸水する場合、一時避難場所**（緊急的に命の安全を確保できる場所）△の**避難ルート**を考えましょう。

ため池が決壊したら、早い場所では数分で決壊流が到達するおそれがあります。できるだけ早く安全なルートを選ぶ必要があります。まずは命を守ることを最優先に考えましょう。

6 一時避難場所から、**避難所**（避難所生活が送れる場所）△の**ルート**も考えておきましょう。

自宅以外の普段過ごす場所についても考えてみましょう。

【2】災害時の注意事項

大雨の場合

1 情報の収集

テレビやラジオなどの**気象情報**をこまめにチェックしましょう。

2 身の危険を感じたら

町からの**避難情報**があったり、身の危険を感じたら、すみやかに**動きやすく安全な服装**での避難を始めましょう。

3 避難時の注意

避難路は様々な危険が想定されます。**臨機応変に危険を避け、橋は極力渡らないように**一時避難場所を目指してください。特に夜間は足元が暗く危険です。懐中電灯などを用意しましょう。また、大雨の際には**段差や水路・マンホールなどに十分注意**しながら歩きましょう。すでに浸水が始まっている場合などは無理をせず高い場所で救援を待ちましょう。

4 助け合い

大雨や地震の時には、**ため池の決壊以外にも河川はん濫や土砂災害などの災害**が発生するおそれがあります。他の災害にも十分注意を払いましょう。まずは**自分の命を守り**、可能であれば近所の方や、一人暮らしのお年寄りなど、助けが必要な方にも声をかけて避難しましょう。

人命第一！まずは避難を！

地震の場合

1 まずは命の安全を！

地震が起きたら、まず**身の安全**を確保してください。

2 二次被害の防止（可能であれば）

火元を確認し、消して下さい。可能であれば、**電気のブレーカOFF**を落とし、**ガスの元栓**をしめてください。外に出るときは歩きやすい**靴を履く**ようにしましょう。

